2021WTCS 横浜大会

エイジ・フィニッシュ
オペレーションマニュアル

【TO/テクニカル・オフィシャル用】

第 1 版

作　成　者	三井　はるみ
作　成　日	2021 年 5 月 1 日
最終更新日	2021 年 5 月 12 日

目次

2021WTCS 横浜大会 1
スケジュール 3
5 月 14 日（金） 3
5 月 16 日（日）エイジ/フィニッシュ　＊パラ選手支援 8：15~9:15 はポジション別業務 5 参照 3
5 月 16 日（日）エイジ競技全体 3
体制 4
1．TO/テクニカル・オフィシャル（9 名） 4
2．VO/ボランティア（20 名）：配置は原則 4
3．備品 5
4.サイネージ 6
フィニッシュ図（TO ポジション・サイネージ掲示場所・備品レイアウト） 6
1．分岐点～フィニッシュライン 6
2．フィニッシュライン、アンクルバンド回収、エイドステーション（パラリカバリー） 7
3．備品レイアウト 7
共通事項 8
1．コロナ対策：詳しくは資料サイトの「コロナ対策マニュアル」を確認して下さい 8
2．TO としての心得 8
3．事故発生時の対応と、情報伝達ルート 8
4．リタイア/救護（メディカル）対応 9
5．エリア整備、サイネージ留意事項 9
6．前開きファスナー対応 9
ポジション別、業務詳細 9
1．メディカルとの連携及び、緊急搬送ルートの把握：TO 全員 9
2．計測・フィニッシュ時計の時刻合わせ（7：15～終了）：CTO,SCTO 9
3．ラン/フィニッシュ分岐点、フィニッシュシュート：TO,VO 9
4．フィニッシュライン：TO,SCTO 10
5．パラ選手フィニッシュ、リカバリー支援（8：15～9：15）：CTO、VO 10
6．アンクルバンド回収、マスク配布：CTO,VO 10
7．テント内エイドステーション（パラのみ：リカバリーエリア兼用）：CTO,VO 11
8．オープンスペース（山下公園内、選手受付からスイム会場までの動線図）：TO,VO 12
競技終了、撤収作業：TO,VO 13

略語一覧

TD	テクニカル・デリゲイト（技術代表）
HR	ヘッド・レフリー（審判長）
TO	テクニカル・オフィシャル（審判員）
CTO	チーフ・テクニカル・オフィシャル（部門のチーフ審判員）
SCTO	サブチーフ・テクニカル・オフィシャル（部門のサブチーフ審判員）
VO	ボランティア

スケジュール

5 月 14 日（金）

時間	スケジュール	場所	対象者
エリート終了後	下見（可能な方はお願いします）	フィニッシュエリア	TO 各自
同上	備品、ピクトグラム、確認	KnTU 本部	CTO、SCTO
15:00-20:00	TO 受付・体温/体調チェックシート提出・ID 受取り※	ワークピア横浜「いちょう」	TO 各自

※私服でお越し下さい。

5 月 16 日（日）エイジ/フィニッシュ　＊パラ選手支援 8：15~9:15 はポジション別業務 5 参照

時間	スケジュール	場所	対象者
05:30-05:40	TO 受付	KnTU テント	TO
なし	TO 全体ミーティング		
05:40-05:50	フィニッシュ TO ミーティング、**緊急搬送ルートの確認**	アンクルバンド回収エリア	TO
05:50-	設営（救護、体協、計測との顔合わせ：CTO,SCTO）	各ポジション（*1）	TO
06:30-	一般選手受付開始	オープンスペース（*2）	TO
07:00-08:00	ボランティア到着・設営	各ポジション	TO，VO
07:15-14:10	競技（**パラフィニッシュ＆リカバリー支援** 8:15~9:15）	各ポジション	TO，VO
14:10-14:30	撤収	各ポジション	TO，VO
14:30 頃	フィニッシュ TO デブリーフィング	アンクルバンド回収エリア	TO
14:40 頃	解散（全員、昼食は競技終了後、TO は弁当支給）	KnTU テント付近	TO

（*1）全員の TO,VO は、各ポジション準備が終わり次第、テント内の設置を手伝う（オープンスペース担当を除く）。

（*2）オープンスペース担当 TO は選手入場チェック、誘導をコロナ委員と行う。

5 月 16 日（日）エイジ競技全体

スケジュール	選手競技時間	
	先頭	最後尾
TO 集合	05:30	
パート別ミーティング	05:30～05:50	
設営	05:50～07:30	
◎交通規制開始	07:00	
スイムスタート	07:15	11:30
スイムフィニッシュ/バイクスタート	07:25	11:55
バイクフィニッシュ/ランスタート	**08:00**	**12:55**
ラン先頭フィニッシュ	**08:15**	-
◎交通規制解除	13:10	
ラン最終フィニッシュ	-	**14:10**
バイクピックアップ	13:00	15:10
撤収	**14:10～14:30　（予定）**	

体制

1. TO/テクニカル・オフィシャル（9 名）

#	名前	ポジション	主な役割	無線
CTO	三井 はるみ	全体	全体統括（電話：090- - ）	○
SCTO	高柳 佳恵	主にフィニッシュライン	全体統括補佐	○
3	石野 恵子	ランとの分岐点	（SEA 再配置 11 時）誘導、声かけ	
4	塚越 景	フィニッシュシュート	声かけ	
5	永塚 美紀	フィニッシュライン	フィニッシュ記録表記入	
6	石戸 勝宏	フィニッシュライン	フィニッシュ記録表記入	
	CTO、SCTO	アンクルバンド外しエリア	誘導、アンクルバンド回収、マスク配布、消毒液	
	CTO、SCTO	テント内	ドリンク、バナナ、タオル、消毒（パラのみリカバリー）	
7	八下田千恵子	オープンスペース	入場チェック、誘導	
8	丸 尚宏	現場で判断	（SEA 再配置 11 時）	
9	墨 さち枝	現場で判断	（SEA 再配置 11 時）	

2. VO/ボランティア（20 名）：配置は原則

ポジション	担当・役割	人数	指揮担当ＴＯ
分岐点、フィニッシュシュート	誘導、声かけ	2	TO4
フィニッシュライン	アンクルバンド回収エリアへ誘導	2	CTO、SCTO
アンクルバンド外しエリア（*4)	アンクルバンド回収、マスク装着、手指消毒の誘導	6	CTO、SCTO
テント内 (*4)	エイドステーション対応	6	CTO、SCTO
オープンスペース	入口チェック、誘導（女子更衣室は担当外）	4	TO7

(*4) **準備と運営は、VO が主体になって行う。テント内人員が３０名を越えないように配慮する。**
アンクルバンドは選手が自ら取外し、籠に入れることを原則とする。

【人と人の距離の基本的な考え方】

テント内で作業や休憩、着替えなどを行う場合の収容人数の目安。

テント 2 間×3 間の場合＊原則 6 名程度を推奨。

フィニッシュテントは 5 貼りなので、最大 30 名とする。

3. 備品

備品名	数量	特記事項
フィニッシュ記録紙 黒ボールペン 鉛筆 クリップ付バインダーボード	9 2 3 2	防水紙 or 耐水紙に印刷。フィニッシュした選手の記録をする。 記入用 記入用（雨天） 紙を挟む
机・椅子	机 2・椅子 4	記載用
紐 ガムテープ白 ガムテープ黄 ガムテープ透明 マジックインキ	1 1 1 1 1	サイネージ取り付け、その他
Caution テープ	1	競技開始まで、フィニッシュシュートを塞ぐ
かご (*6) ゴミ袋 ベンチ 机	6 12 2 2	アンクルバンド回収 ７０リットル程度のゴミ袋 ベンチはパラのみ テント入場前、アルコール消毒液、マスクの設置用
机 (*6) ベンチ	8 20	テント内、エイドステーション。VO が設置する。 テント内、パラ/リカバリー用（うち 4 は予備）
ドリンク、バナナ、参加賞 (*6) マスク	－	選手用
ゴミ箱 (*6) ゴミ袋	3 3	ごみを分別（生/プラ/ペットボトル×1 個、サイネージを付ける） ゴミ箱＋袋はパラが終わり次第、撤去する。
ゴミ袋	1	選手が落としたマスクやジェルを廃棄。（裏ゴミ袋）
竹ほうき	2	フィニッシュシュートの清掃。落ち葉、小石、砂の除去。
台拭き雑巾	10	雨天時、着順記録用机周り用、アルコール消毒用
使い捨て手袋	→	TO とボランティア、人数分×2
フェイスシールド	→	TO とボランティア、人数分×1（緊急時に使用する）
アルコール消毒液入りボトル	10	手指消毒
無線機	2	CTO, SCTO

(*6)アンクルバンド回収エリアとテント内は、ボランティアリーダーを中心にボランティアが行う。

4.サイネージ

フィニッシュ後エリア×2

同エリア×2（籠×６）

同エリア×1

エイドステーション×1

エイドステーション×1

テント出口の外×1

オープンスペース出口×1

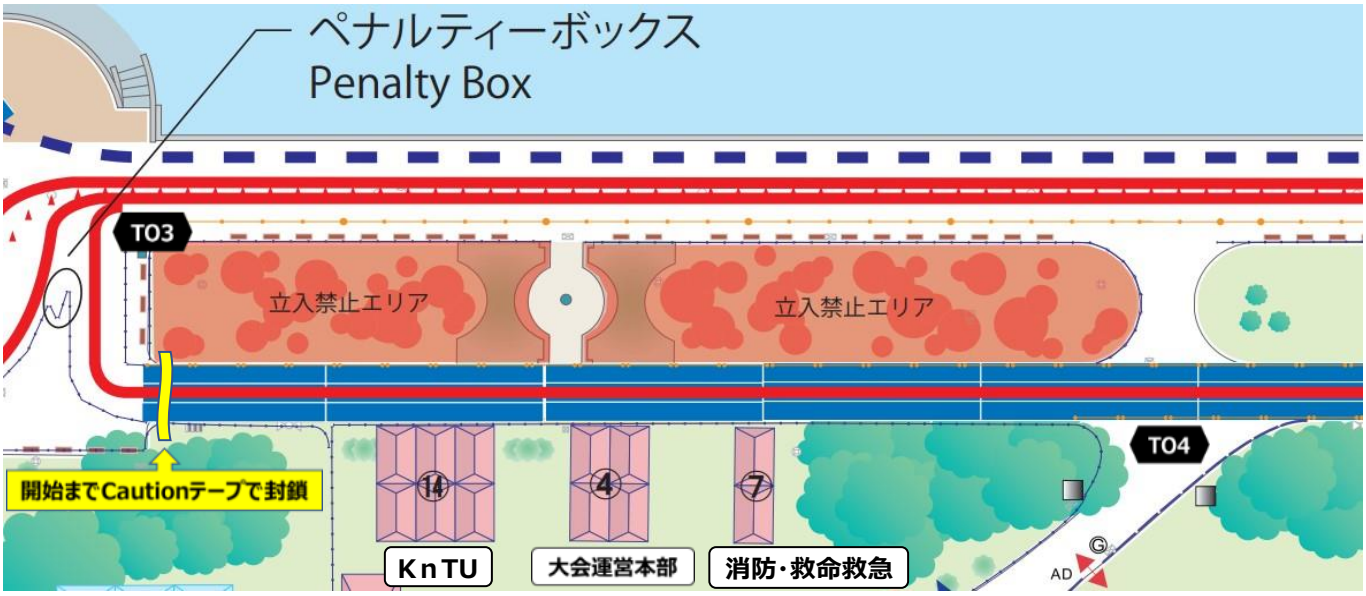
オープンスペース入口×1

アンクルバンド回収エリア×３

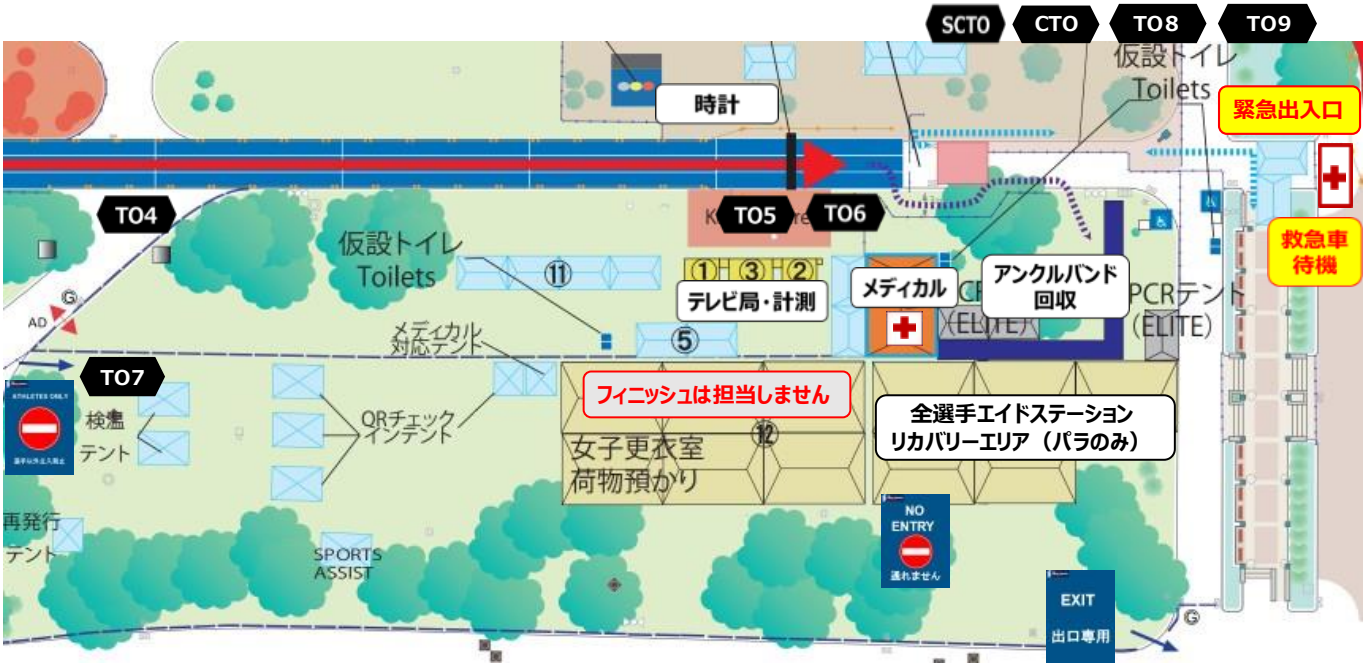
同左×３

フィニッシュ図（TO ポジション・サイネージ掲示場所・備品レイアウト）

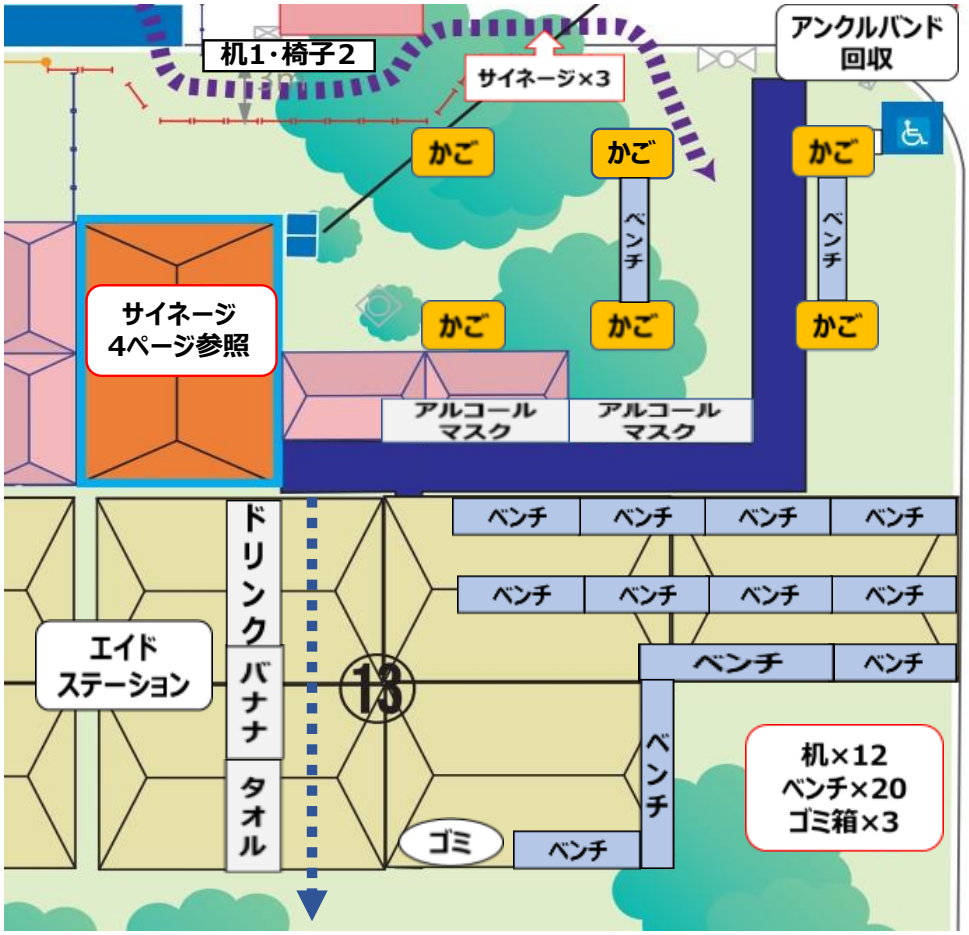
1. 分岐点～フィニッシュライン



2. フィニッシュライン、アンクルバンド回収、エイドステーション（パラリカバリー）



3．備品レイアウト



共通事項

1. コロナ対策：詳しくは資料サイトの「コロナ対策マニュアル」を確認して下さい

1. **大会共通：『感染しない・させない』ための行動を厳守する。大会に関わる全ての関係者が 2 週間の健康チェックを行い「健康が保たれていること」を前提とする。健康・検温チェックシートの提出をお願いします。**
   （1）選手及び全ての関係者は**マスク着用を義務**とする。ただし選手に限り、競技中のマスク着用については脱着を認める。**KnTU は TO 用のマスクを用意していますが、紛失や汚れる場合を考慮し、各自が不織布マスクの準備をお願いします。個人用の手指消毒液も準備して下さい。**コロナ対策マニュアル（5/5）17 ページに「不織布マスクと手指消毒液は各自で用意する」と記載されております。
   （2）スタッフは**活動場所により使い捨て手袋を常時着用**し、**緊急時はフェイスガード**（フィニッシュ TO,VO 全員に配布）を着用する。その他必要と思う感染症対策備品は、各自で用意し持参する（使い捨て手袋：TO,VO に 4 セット配布）
   （3）頻繁に**手洗いと手指消毒**を行う。手袋着用の場合も同様にする。
   （5）人混みを避け、**ソーシャルディスタンス（２m）を保つ。**
   （6）選手及び関係者は、**備品や椅子など共用してはならない。**
2. フィニッシュエリア
   （1）**競技選手及びフィニッシュエリア担当 TO/VO 以外のスタッフ、役員、カメラマンの立ち入りを禁止する。**
   （2）選手同士の**ハイタッチ、握手、ハグなど接触は禁止する。スタッフは選手に触れないこと。**
   （3）**フィニッシュ後の写真撮影は禁止する。**
   （4）リカバリー用のドリンクやフード、タオルはセルフサービスとし、**ボランティア等による受け渡しは行わない。**
   （5）**パラのみテント内ベンチでリカバリー。次のパラ選手が来る前に使ったベンチは消毒する。パラ終了後は撤去する。**
   （6）一般選手は、セルフサービスで受取り後に速やかに屋外（オープンスペース）に移動する。
   （7）**アンクルバンド回収、フィニッシュテントを担当する TO,VO は常に使い捨て手袋を着用する。**
   （8）**緊急時はフェイスガード（フィニッシュ TO,VO 全員に配布）を着用する。**

2. TO としての心得

1. **TO は尋ねられます。**開始時間、コース、スイム・バイク・ランの周回数、スイムスタートへの動線、試泳、バイクピックアップ、トイレ・更衣室・荷物預けの場所など、フィニッシュ業務以外の事であっても答えられるように準備をお願いします。**全員に大会プログラムが配布されます。それ以外に各自が必要と思われる資料は、大会 HP や TO サイトで準備して下さい。**
2. **TO は見られています。言葉遣い、振る舞いは丁寧に。**
3. **コミュニケーションを活発に。**警備員、コロナ委員など他部門のスタッフと情報共有に努めて下さい。
4. **持ち場で起こりうることは事前にシミュレーション。**
5. **休憩は適時。**声をかけ臨機応変に。昼食は TO,VO の全員が競技終了後になります（TO は KnTU テントでお弁当）。
6. **体調に配慮し、こまめな水分補給と手指消毒を。**自身の安全と体調を第一考え、決して無理のないようにして下さい。
7. **CTO はハサミ、ニッパー（結束バンド切断用）、カッターを準備します。可能な限り持参するようお願いします。**

3. 事故発生時の対応と、情報伝達ルート

1. **後続の選手の安全を第一に、競技が大きな支障なく続行できることを優先し緊急対応**する。
2. **「発生場所・時間」、「けが人の状態」、「レースナンバー」、「人数」、「対処内容」**等を簡潔に無線保有の CTO か SCTO に口頭か電話で報告する（携帯番号は朝ミーティングで確認）。無線で KnTU 本部へ連絡します。

4. リタイア/救護（メディカル）対応

1. TO は**「リタイアの意思、レースナンバー、氏名」**を確認し、選手からアンクルバンドを回収する。
2. CTO に電話で報告し、アンクルバンドを終了後か巡回中の CTO か SCTO に渡す。
3. CTO はリタイア情報を HR または本部に無線で報告する。レース終了後に回収したアンクルバンドを計測テントに届ける。
4. 救護が必要な場合は選手をメディカルに案内するなど、適切に支援する。

5. エリア整備、サイネージ留意事項

1. エリア内の清掃を行い危険箇所がないか確認し、修正した場合は CTO に報告し、CTO は TD に報告する。
2. サイネージは約 1.2mの高さを揃え、**紐とガムテープ使用は最小限で効果的な表示**を心がる。WTCS 横浜大会は**洗練された運営**を求められているので、見栄えにも留意する。
3. 配備されている備品類の確認をし、足りないものがあれば体協エリア担当者と協議し、セレスポへ手配を依頼する。

6. 前開きファスナー対応

1. 上半身裸や前開きファスナーが下がっている選手に対して警告を行い、着衣・修正は選手を停止させても安全上問題ないか確認し **STOP&GO により完全に閉めさせる**。選手から質問を受けた場合は以下の回答を行う。**「詳細は競技規則第３９条をご確認ください。前面ファスナー着用は禁止されています。発見した場合は、ペナルティを科す場合があります」。**

ポジション別、業務詳細

1. メディカルとの連携及び、緊急搬送ルートの把握：TO 全員

1. **緊急搬送ルート、メディカル救護所の位置を確認する。当日の朝、全員一緒に実際のルートを歩きながら確認する。**
2. 体協エリア担当者、メディカル・医療スタッフと当日の天候など、情報共有を行う（CTO,SCTO）。

2. 計測・フィニッシュ時計の時刻合わせ（7：15～終了）：CTO,SCTO

1. 準備：ガントレー付近、計測のスタッフと時計の位置、数、それぞれの役割、作動状況を確認する。
2. エイジの各グループ時間にあわせて、その都度時計をスタートさせる。時計が地面にもある場合は同様に行う。

3. ラン/フィニッシュ分岐点、フィニッシュシュート：TO,VO

1. 準備：危険箇所の確認をし、竹ほうきでフィニッシュシュートの小石の除去、清掃を行い、サイネージの設置をする。
2. レース中：**選手に分かりやすく注意喚起し、ジェスチャーとともに声掛けをする。**
   「ファスナーを上げて下さい」・・・（詳細：共通事項 6.前開きファスナー対応）
   「レースナンバーを前へ」　「サングラスを外してください」
3. **同伴フィニッシュは禁止です。**

4. フィニッシュライン：TO,SCTO

1. 危険箇所の確認をし、サイネージの設置をする。
2. 記録用の備品リストを確認し、机と椅子はフィニッシュテントから運搬し設置する。筆記用具とその他は SCTO 又は CTO が KnTU 競技本部から運ぶ。
3. **着順判定は行わず、フィニッシュした選手のチェック（記録）のみ行い記入する。**
   （1）（パラ）と（スタンダード＋スプリント） 2 種類のフィニッシュの記録 1 部を 2 人で手書き作成する。
   （2）最終走者が通過後、CTO が HR に届ける。

5. パラ選手フィニッシュ、リカバリー支援（8：15～9：15）：CTO、VO

TRI-1　：3 名
TRI-2~5：9 名
TRI-6　：7 名（＋ガイド 7 名）

1. **レイアウト及び備品の配置は、前述の図に記載。**
2. **<u>テント内が TO,VO 含めて 30 名を越えないように配慮し、場合によりスタッフが退去し外から見守る</u>。**
3. **テント内の設営（ベンチ、机、ドリンク、タオル、ゴミ箱等）は VO（到着 7 時頃）が主体となって行う。**
4. **パラフィニッシュ：原則 SEA 5 名の TO が行うが、必要に応じてフィニッシュパートが支援する。**

（7：50 頃）SEA の TO 5 名が T1 から選手の荷物を輸送し、ベンチにレースナンバー順に配置する。
（8：15 頃）TRI-1 フィニッシュ。SEA の 5 名が、TRI-1 ラン車椅子の停止支援をする。
・アンクルバンド回収は原則として選手自身が取外し籠に入れる。
・リカバリーエリア（テント）を退室する選手の荷物の運搬支援を、必要に応じて SEA が行う。
・SEA が、荷物を引き取りに来ないパラ選手の荷物を T2 へ運び、終了の確認を行う。

6. アンクルバンド回収、マスク配布：CTO,VO

1. **<u>当エリアを担当する TO,VO は、必ず使い捨て手袋を着用する。その上でこまめな手指消毒を行う。</u>**
2. 備品リストを確認、サイネージを取り付ける。**ベンチ 2 台はパラが終わり次第撤去し、テント内に片付ける。**
   テント入口の両サイドにテーブルを 1 台ずつ設置し、消毒液 2 本とマスクが入った箱をそれぞれ設置する。
3. **アンクルバンドは選手が自ら取外し、籠に入れることを原則とする。<u>スタッフは選手に触れないこと。</u>選手が疲労するなどで、自分自身で取外しができない場合は、落ち着いてから自ら取外し籠に入れさせる。**
   <u>※やむを得ず取り外し支援をしたら、その都度、手指消毒を徹底する。</u>
4. アンクルバンドを取り外した選手に、**マスクと消毒液のセルフサービスを促す。**
5. 人流コントロールを行っても選手が密になる場合と、雨天等で**「マスク配布を手渡し」**に CTO 判断でします。その場合**配布担当はアンクルバンド回収を同時に行わない事を厳守する。**
6. 選手が滞留しないように誘導し、喋っている選手がいたら、会話を慎むようにコントロールする。
7. VO は体調不良の疑いがある選手に気付いたら、TO へ知らせる。

<u>※アンクルバンドに関するトラブルの対応について。</u>選手から内容を聞き取り、隣接する KnTU 競技本部に TO が直接出向き説明し、本部から HR 及び TD へ連絡するように依頼をする。

7. テント内エイドステーション（パラのみ：リカバリーエリア兼用）：CTO,VO

TRI-1　：3 名

TRI-2~5：9 名

TRI-6　：7 名（＋ガイド 7 名）

【パラ/一般、共通】

1. **テント内が TO,VO 含めて 30 名を越えないように配慮し、スタッフは場合により退去し、外から見守る。**
2. **当エリアを担当する TO,VO は、必ず使い捨て手袋を着用する。その上でこまめな手指消毒を行う。**
3. テント内の設営は **VO（到着 7 時）が主体となって行う。**
4. 備品（ベンチ、机、ドリンク、参加賞、ゴミ箱他）は、大会運営者により主にテント、他に配備される。
5. 選手の動線を考慮し（テント入り→給水・給食等受領→〈パラリカバリーエリア利用〉→ゴミ箱→テント退室）設営する。
6. リカバリー用のドリンクやフード、タオルは**セルフサービスとし、受け渡しは行わない**。
7. **大会参加賞のタオルは、一人一枚を厳密に取らせるよう VO が立ち会う。予備がありません。**
8. 怪我や体調不良選手がいないか気を配り、様子のおかしい選手がいたら TO に知らせる。
9. 落し物を見つけた場合は、KnTU 本部へ随時届ける。
10. テーブルとベンチに消毒液を分散させて置き、選手が自由に使えるようにする。

【パラ】

1. **ベンチはパラのみ荷物置場、リカバリーエリアとなる。**図の通りカテゴリー毎に荷物を並べられるよう設営する。

（1）TRI-1 の選手用エリアは、広さがとれて車椅子を置きやすいエイドステーション出口付近にする。

（2）生活用車イスは、ハンドラーがいない場合通常は SEA がフィニッシュ後リカバリーエリアに T1 荷物とともに運搬している。

（3）TRI- 2 ～ 6 選手の荷物は、TRI-1 選手よりも離れた位置でもよい。

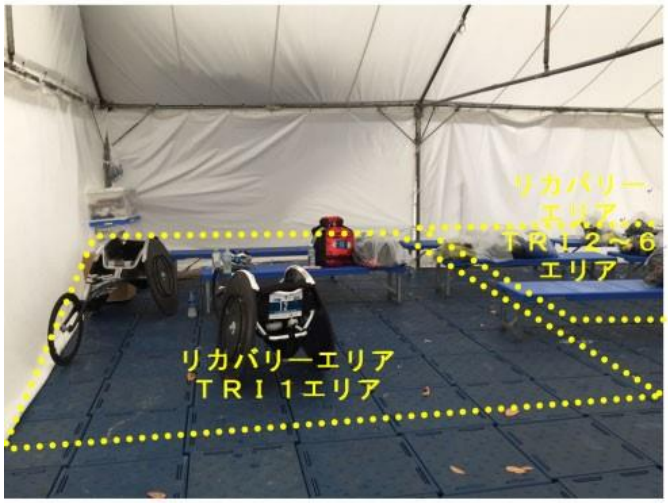
（4）選手の個別ヒアリングシートに従ってレースナンバー順に SEA が置くので、必要があれば支援する。

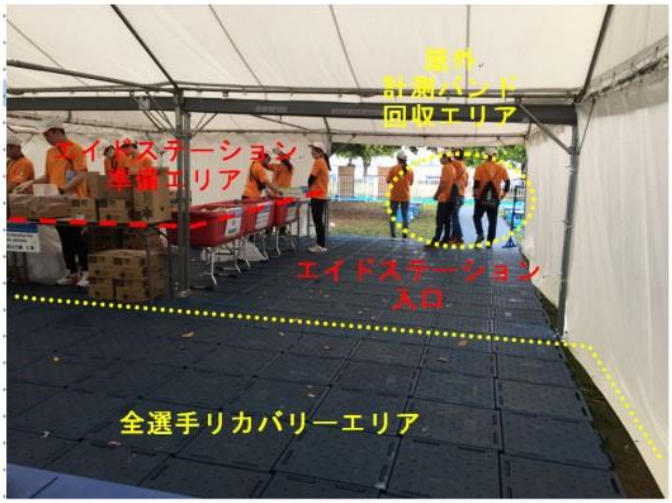
2. **パラ選手全員が退出したら、ベンチをたたみパラ TRI-1 更衣室に運び入れ、ゴミ箱も同様に片付ける。**

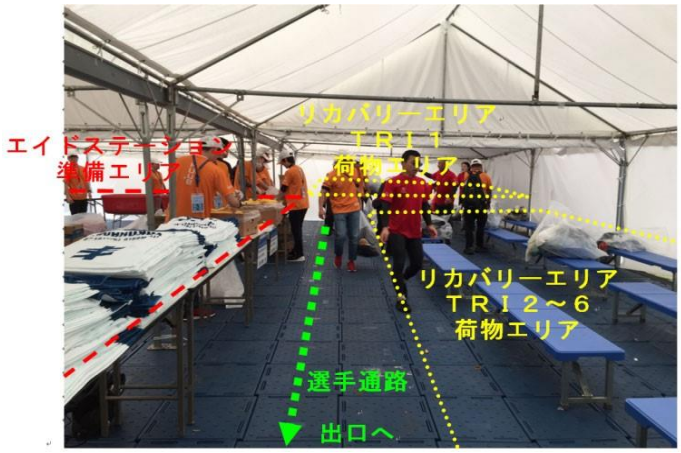
【一般】

1. 一般選手はドリンク等受取り後、**速やかにテントを退出し、屋外のオープンスペースでリカバリーとする。**

【参考：２０１９年大会･レイアウトは異なります】







【参考：２０１９年大会･レイアウトは異なります】

８．オープンスペース（山下公園内、選手受付からスイム会場までの動線図）：TO,VO

1. TO は選手の入場チェックを行う。コロナ委員と整理員に業務を割り振る。サイネージを 3 箇所掲示する。
   「女子更衣室・荷物預け」は他の部署が責任を持つので、フィニッシュ TO,VO は管理しなくてよい。
2. VO が到着（7 時）したら、選手の誘導を指示する。場合により VO はテント内を手伝う。
   当屋外エリアはレース終了後のリカバリーエリアを兼ねており、VO を分散させて配置する。
3. フィニッシュ後、一般選手はドリンク等を受け取り後、屋外のオープンスペースでリカバリーを行う。
4. 競技終了してから時間が経過した状態での体調不良選手がいないか気を配る。
5. 生ゴミや分別ゴミは、当エリア出口方向の「エコステーション」に選手が自ら廃棄することとする。
6. **選手から問い合わせの多い、選手の動線を把握しておいて下さい。**次ページはアスリートガイドより抜粋。

競技終了、撤収作業：TO,VO

1. 最後尾の選手がフィニッシュしたら、CTO または SCTO は無線で KnTU 本部に連絡する。
2. 選手がフィニッシュエリアを通過しテントを出た時点でフィニッシュ業務の全てを終了とする。
3. TO と VO は簡単な後片付けと備品を回収する。本大会は運営者が撤収するので TO、VO が主体的に実施する必要は無いが、サイネージ、備品等は KnTU 本部に返却するのでまとめておく。